

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(女) 1 回戦

試 合 日 : 2014/08/02
開始時刻 : 11:00~
会 場 : 秀明八千代高校
コ ー ト : Jコート
試 合 順 : 第2試合(女) 1 回戦

Team A		Team B
桐生市立商業	66	安城学園
(群馬県)		(愛知県)

TeamA(桐生市立商業)

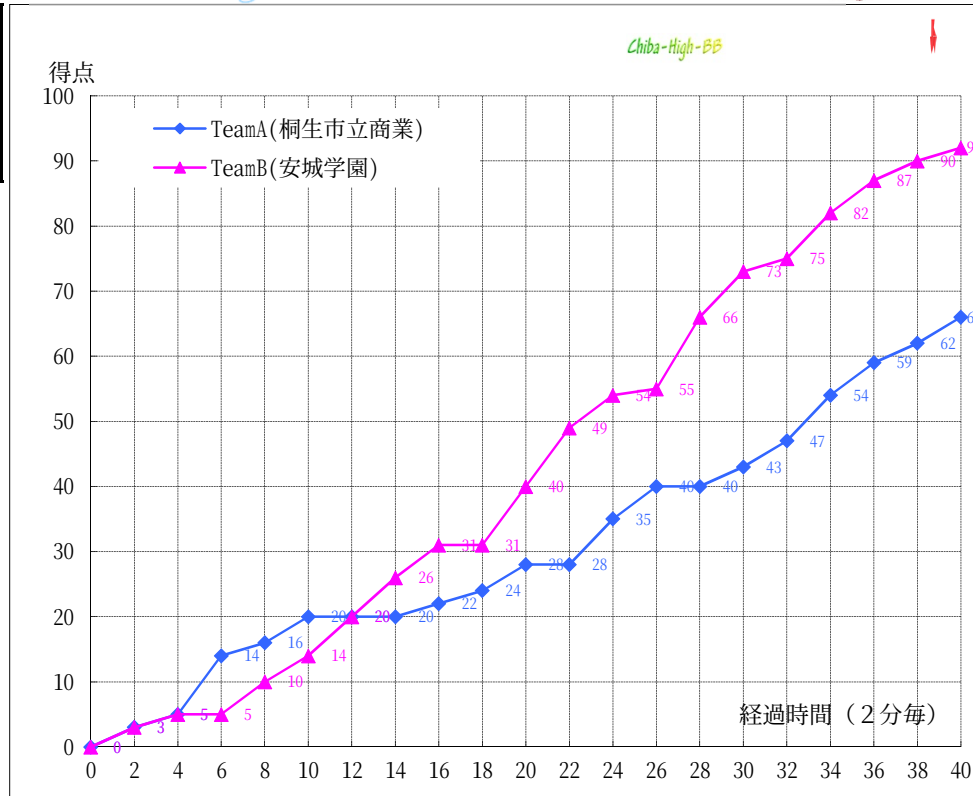
No	PT	選 手 名	得点	3ポイント 成	2ポイント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	井田 菜奈美	4	0	1	2	3	0	5	5	1	1	1
5	◎	山口 かりん	10	0	3	4	1	2	1	3	0	0	1
6	◎	金子 ひかる	16	0	7	2	1	1	3	4	1	0	3
7	○	須田 菜名未	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0
8	○	飯泉 紗樹	5	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0
9	○	山本 怜奈	2	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0
10	○	金子 ひかり	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
11	-	宇治川 愛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	◎	山野井 美優	22	5	3	1	1	0	2	2	0	0	2
13	◎	高瀬 愛莉	7	1	1	2	2	0	3	3	2	0	3
14	-	武 日向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	原國 英海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	0	2	2			3
合 計			66	7	17	11	16	4	18	22	5	1	10

TeamB(安城学園)

No	PT	選 手 名	得点	3ポイント 成	2ポイント 成	フリースロー 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロック ショット	ターン オーバー
								off	def	計			
4	◎	山口 真穂	21	4	3	3	0	1	3	4	2	0	1
5	◎	アイメレク モニーク	24	2	6	6	1	3	8	11	2	0	3
6	○	富永笑里	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0
7	◎	渡辺 実鈴	11	1	4	0	0	3	5	8	4	2	3
8	○	長坂 穂乃香	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5
9	○	神納 春奈	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	3
10	○	中野 みなみ	6	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
11	◎	土田 帆乃香	4	0	2	0	3	1	1	2	2	0	4
12	○	磯貝恭子	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
13	○	須田 多恵	8	2	1	0	1	0	4	4	0	0	1
14	○	岡田 真那美	6	0	3	0	0	0	2	2	1	0	1
15	◎	高橋 華菜	10	0	5	0	2	2	4	6	0	1	2
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	10	12			0
合 計			92	11	25	9	14	13	40	53	13	3	24

T0 千葉県高体連バスケットボール専門部 第8・第9地区所属高校バスケットボール部

InterHighSchool 2014 in Chiba 02J2



タイムアウト	前半(1・2・3・4)		後半(3・4)		延1	延2	延3	延4
	TeamA	TeamB	TeamA	TeamB				
	11:25	15:46	23:46	-:-				
	4:43	-:-	-:-	-:-				

【戦評】

両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。立ち上がり安城に固さが見られ、桐生の固いディフェンスに阻まれ、思うように攻められずシュートが決まらない。桐生は#12 山野井、#4 井田の3P、#6 金子のドライブシュートが決まり、20対14桐生リードで第1P終了。第2Pに入り、安城#5 アイメレクの3Pが決まると、巻き返しを図りゾーンプレスを仕掛け、開始2分後に同点に追いつく。その後も安城#5 アイメレクを中心に#4 山口、#7 渡辺が着々と得点を重ね、徐々に差を広げ28対40で逆転をし、前半を終了する。第3P桐生に焦りが見られ、パスミスやキャッチミスが続き#5 山口のインサイドシュートで確実に得点を重ねようとするが、相手のディフェンスに阻まれシュートが決まらない。一方安城は多彩な攻めから確実に得点を重ねる。第4P後半桐生は2-2-1のゾーンプレスを追いつこうとするが、冷静に試合を運んだ安城が66対92で勝利した。

審判	中澤 久馬 / 中原伊久美 /	戦評	高橋 英彦
----	-----------------	----	-------

]